



株式会社日本バイオリサーチセンター

Nihon Bioresearch Inc.

〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地

TEL 058(392)2431 FAX 058(392)1284

URL: http://www.nbr.co.jp/



「食品開発展2007」開催 !!

ブースの出展と記念セミナープログラムのご案内です。



2007年11月20日(火)21日(水)22日(木)

東京ビッグサイト 東4・5・6ホール 10:00~17:00

I. ブースの出展は、東5ホール(東展示棟 Hiエリア)のセンター位(A-335)です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

展示内容: 食品の機能/安全性の評価試験を展示します。

機能性評価の例

1. 生活習慣病(抗脂血症、高血圧、糖尿病) 2. 冷え性 3. リウマチ 4. 疲労 5. アレルギー(花粉症、アトピー性皮膚炎)

安全性評価の例

1. 一般毒性(単回投与および反復投与) 2. 遺伝毒性(Ames試験、染色体異常試験) 3. 免疫毒性(PLNA、抗原性試験)

II. 弊社 清水雅良(基幹研究員)が機能性食品(トクホも含む)の開発に関する講演を下記の要領で行います。

日時: 11月22日(木)12:40~14:00

会場: 会議棟6階

テーマ: 有用性・安全性の評価法

講座名: 食品の機能性評価および安全性評価のための前臨床試験について

機能性食品(トクホも含む)の開発における前臨床試験の意義と、長年の医薬品開発において培ってきたノウハウに基づいた機能性評価試験および安全性試験をご紹介します。これから開発をお考えの皆さまも、既に行われていらっしゃる皆さまにも、聴講頂いてお役に立てれば幸いです。ご参加の程、宜しく願い申し上げます。

お知らせ:

● 次号予告: 女性に大敵! 「冷え性」の試験モデルについて。。



こちらから
(株)日本バイオリサーチセンター
業務企画部の連絡先が
入手できます。

佐部利 典彦のアートギャラリー(2)

岐阜県出身(1969~)



作品解説

F15号、技法: 油彩・テンペラ ※

友人の若い夫婦と可愛い娘さんに会い、この絵が生まれました。私自身も家族をもつことができ、家族の絆について考えさせられる毎日です。そんなイメージでこの絵はできました。

※ テンペラ: 色の粉を卵と油で練って描く技法のこと。

作品タイトル: 家族

『心の絆』

男性79歳、女性85歳、日本人の平均寿命です。この40年間に12歳も延びました。100歳以上は3万人を越えました。健康で長生きできることは有り難いことです。この寿命と薬の開発には大きな関係があります。結核、梅毒、ハンセン病など、かつて不治の病と言われた病気も薬で治癒できます。高血圧、胃潰瘍にも画期的な薬が開発されました。外科手術の進歩にも麻酔薬が大きく貢献しています。病気を治し、寿命の延長に貢献した薬を挙げるといくつもあります。癌、心筋梗塞、うつ病などの疾患に今以上に効果のある薬が開発されると平均寿命はさらに伸びるでしょう。そんな中で平均寿命が50歳に満たない国がまだまだあります。ジンバブエ、エチオピアなどです。65億人の世界人口の中で13億人が1日1ドル以下で生活しています。年収にすると5万円以下です。病気の治療に薬を買うだけのお金がありません。「分かち合えば足りる」。同じ地球人として、恵まれない人への優しさと思いやり。私たちが持ちたい心です。